

## 第43回生涯教育講座

「高齢者てんかんを見逃さない」

小原 知之 先生（九州大学大学院医学研究院精神病態医学）

受講者からの質問と小原先生からの回答は、下記をご参照ください。

### 【質問】

うつ病の人のてんかんに、フェノバルビタールを避けたほうが良いのはなぜでしょうか。

### 【回答】

うつ病患者のてんかんに、フェノバルビタールを避けたほうが良い理由は、主に以下の4点が挙げられます。

#### 1. 抑うつ症状の悪化のリスク

フェノバルビタールはGABA(A)受容体を介して神経抑制作用を持つバルビツール酸系の抗てんかん薬ですが、中枢神経抑制作用が強く、抑うつ症状を悪化させる可能性があります。

#### 2. 認知機能への影響のリスク

フェノバルビタールはその長期使用により認知機能を低下させることが知られています。特に高齢者では、フェノバルビタールがせん妄や記憶障害を引き起こすことにも留意しなければなりません。

#### 3. 精神依存性のリスク

バルビツール酸系薬のため、精神依存のリスクが高く、減量時の離脱症状が問題となることがあるため、その長期使用は慎重に考える必要があります。

#### 4. 薬物相互作用

フェノバルビタールは抗うつ薬（SSRI, SNRI, 三環系抗うつ薬など）の血中濃度を低下させることがあり、うつ病の治療効果が減弱する可能性があります。